

新しい統計学の創成を目指す研究者や学生、
固有分野の研究で統計学の必要性を感じた人などのさまざまな人が集い、
切磋琢磨しながら「統計思考力」の鍛錬を行います。

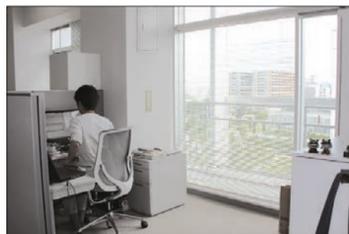
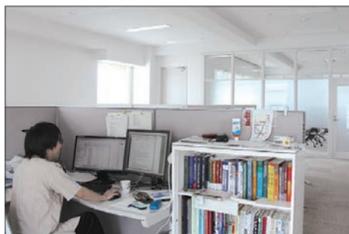
交流のための オープンスペース



会議スペース (TV会議システム)



若手研究者のための個別スペース



統計思考力育成事業 (外部向けプログラム)

統計思考力育成事業の一環として、所内のみならず、外部向けとして、下記のようなプログラムがあります。

それぞれのプログラムの詳細についてはホームページの統計思考力育成事業 (<http://www.ism.ac.jp/shikoin/overview/>) からご覧下さい。



対象	プログラム名称及び概要
統計数理に興味を持つ一般の方	公開講演会 ●年1回(11月)
統計数理を学びたい方	公開講座 ●年10回程度/有料
大学生・大学院生の方	大学院連携制度 連携大学院において、統計数理に関する集中講義又は学生指導を行います。 特別共同利用研究員制度 他大学院学生の研究指導を行います。 夏期大学院 公開の講義を行います。 ●年1回(夏) 公募型人材育成事業 「統計思考力」に関する研究会等を公募します。 *公募対象は研究者の方です。
統計数理の最先端に触れたい方	統計数理セミナー 統数研の教員による統計数理の最新トピックのセミナーです。 ●毎週水曜日/予約不要
問題解決でお悩みの方	共同研究スタートアップ 統計数理に関わる問題について、統計専門家がその位置付けを見極め、解決に向けて助言を行います。
他機関研究者の方	研究者交流促進プログラム サバティカル制度等を利用して統数研で研究をする大学教員等に対する支援制度です。 *情報・システム研究機構のプログラムです。
企業の技術者・研究者の方	データサイエンス・リサーチプラザ 思考院に一定期間滞在し、統数研の研究環境を利用して研究活動を行う制度です。/有料
統計教育にたずさわる方	統計教育関連事業 教員研修や小中高の生徒への統計教育等を支援します。
オンラインですべての方に	統計教育動画配信



統計数理研究所 統計思考院

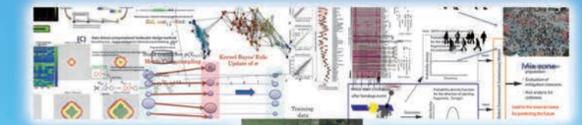
* 題字は北川 源四郎 元所長の書による

〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 <http://www.ism.ac.jp/shikoin/>

- ◎立川バス 立川学術プラザ下車 徒歩0分
裁判所前または立川市役所下車 徒歩約5分
- ◎多摩モノレール 高松駅より徒歩約10分
- ◎JR中央線 立川駅より徒歩約25分

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 <http://www.ism.ac.jp/>
統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

統計数理研究所 統計思考院



専門分野の深い知識(縦棒)と
統計分野における横断型の広い知識(横棒)を備えた
T型人材を育成

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

人材育成・統計思考力育成事業の各プログラムの企画・実施の母体

統計数理研究所の目標のひとつに「統計思考力を備えたT型人材育成による融合研究の推進」があります。T型人材、すなわち専門分野の深い知識（縦棒）と統計学という分野横断型の広い知識（横棒）を備えた人材のことです。

統計思考院は、人材育成・統計思考力育成事業の各プログラムの企画・実施の母体として、大規模データを活用したモデリングや研究コーディネーションなど大規模データ時代に求められる統計思考ができる人材（T型人材、モデラー、研究コーディネータ）を共同研究の現場で育成します。また、大学教員のサバティカル支援事業や統計数理の成果の公開普及活動などを実施するとともに、複雑・不確実な現象の解明に挑戦します。

■ 構成メンバー

院長（兼）／副院長（兼）／教授（兼）／准教授（兼）
特命教授（共同研究スタートアップ担当）
特任教員／特任研究員
客員研究員／外来研究員 等



統計数理研究所A606室
（広さ：約400㎡）

特任研究員等のための
個別スペース： 14区
交流のためのオープンスペース： 15席
共同研究スタートアップ
コーナー： 1区(3席)
その他、
事務・研究補佐のためのスペース： 4席



「共同研究スタートアップ」プログラム

「統計的かもしれない」疑問にお答えする場を提供します。

データ解析・統計分析に関わる問題でお悩みの方々のために「共同研究スタートアップ」プログラムを用意しています。本プログラムの命名には、日常的な相談の中に統計学研究のテーマを見つけ出し、共同研究に発展させたいという期待が込められていますが、一般的な統計リテラシー普及の役割も担っています。統計数理研究所までお越しいただいて直接お話を伺うことを原則としておりますが、混雑時には面会の約束がかなり先になることを予めご了承下さい。

助言の対象範囲には、取得済みのデータに関する解析法だけでなく、データの収集法、調査の方法、実験の計画といった事項も含まれます。

■ お申し込み方法

お申し込みの詳細は、<http://www.ism.ac.jp/shikoin/startup/> も併せてご覧ください。
ホームページに掲載されている指定書式にご記入の上、下記の電子メールアドレス宛てに添付メールにて、もしくはFAXか郵送にてお送りください。

電子メールアドレス	startup@ism.ac.jp
ファックス	042-526-4347
郵送先	〒190-8562 東京都立川市緑町10-3 統計数理研究所 統計思考院 共同研究スタートアップ 係

※ 本プログラムの利用に際しては、予め所定の用紙に相談内容を記載していただいた上で、担当者とのアポイントを取っていただき、統計数理研究所までご来所いただくことが条件となります。

※ ファイルの利用が困難な方は以下の1～10の項目をご記入の上、上記宛て先にお送りください。
1.氏名（ふりがな） 2.所属機関 3.所属機関種類 4.連絡先住所
5.電話番号 6.ファックス番号 7.メールアドレス 8.相談内容 ※要点を具体的に書いてください。 9.どこでこのプログラムを知ったか
10.年報掲載承諾の旨の明記（下記注意事項参照）

■ お申し込みの際の注意事項

- ◎ 問題のご説明に必要であれば、研究課題で使用しているデータをお申し込み時にメール添付でお送りいただいても結構ですが、それが非常に秘匿性の高いものである場合は、メールでのご送付はご遠慮ください。
- ◎ 共同研究課題として結実するか否かに関わらず、お話を伺ってご助言申し上げた事柄に関しては、当研究所発行の年報に「統計思考力育成事業・指導援助等」の項目で相談者名・所属、相談内容（一行程度）、相談実施日が掲載されますので、予めご了承ください。年報はWeb上でもPDF版を公開しております。

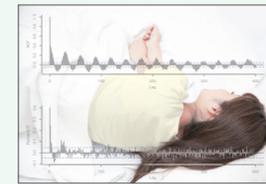
共同研究スタートアップから共同研究へ発展した例

様々な研究分野と統計学の架け橋として。

ケース1

基礎体温の変動から月経周期を予測する

就寝中の体温を自動記録するウェアラブルセンサの開発を行っている企業からの相談で、ウェブ上に蓄積された体温データに基づき、個々の利用者が月経周期のどのステージにいるのかを確率的に評価する統計モデルを作成しました。月経開始日の予測など、女性の健康管理に役立つ新サービスの開発につながる事が期待されています。



ケース2

生物相把握のための調査デザインと統計解析

都市部に生息する鳥類が選好する環境要因等を調査データから統計的に分析し、緑地計画に活用したい、という相談が大手建設会社から持ち込まれました。調査時にたまたま対象の鳥類がいなかったというようなデータのばらつきを考慮する調査デザインと解析方法を提案することで、緑地計画の決定に役立つ知見が得られました。



ケース3

インターネット広告におけるアトリビューション解析

インターネット広告の効果測定を課題とする企業から、消費者の広告への接触履歴と、資料請求や商品購入等の実際の行動を結びつけて、各広告の貢献度を測定する統計モデリングに関する相談が寄せられました。個人ベースの履歴に対して隠れマルコフモデルを適用することで、恣意性を排した広告効果の推定が可能になりました。



- ◎ 本プログラムをご利用の結果が学術的な業績（論文、学会発表）や社会への貢献等につながった場合には年報に記載させていただきますので、お知らせください。
- ◎ 本プログラムの受付は随時行っていますが、担当者在室の日が限られているため、調整には通常お時間をいただきます。緊急を要する事案であっても、必ずしもご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
- ◎ 大学・大学院の履修科目内で課されるレポート課題は、本来的に所属大学の施設等のリソースを使って自力での解決が望まれますので、本プログラムでは受付致しかねます。学位論文の完成にあたって指導・助言をお求めの場合は、特別共同利用研究員制度をご利用ください。